

人をつなぎ...

■ 法人 法人 企業 = 特産品 (ポテトチップス)



(農)和草



(農)フレンドわそう



(農)おおしも



(農)あぞうばら



(農)たかさご

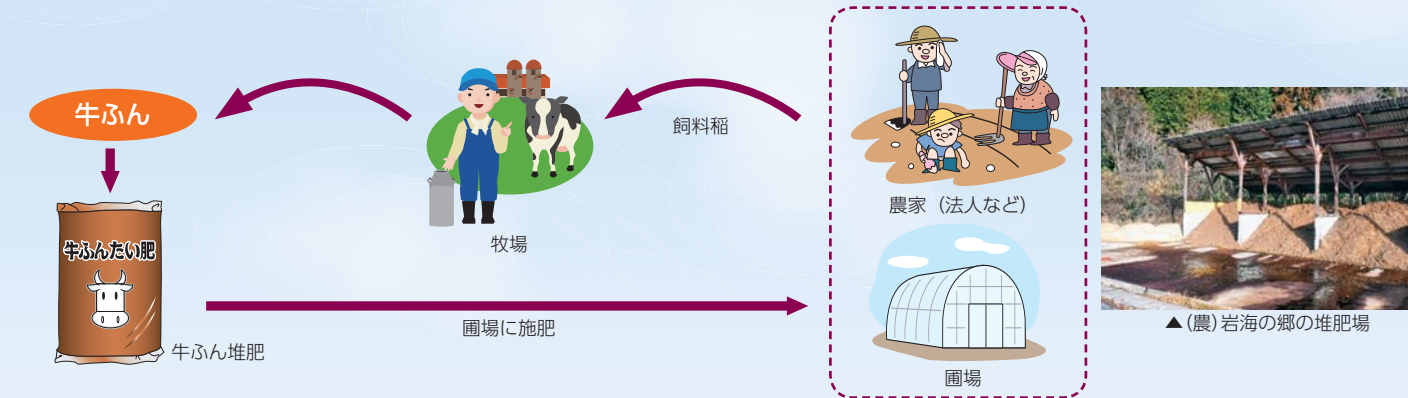


イズミへ限定販売
売り切れ御免!

カルビー(株)との契約栽培による「ばれいしょ」の生産(130t/年)に取り組んでいる。平成30年7月末から販売している「生産者限定ポテトチップス」は、リピーターも多く、また、イズミのみの限定販売のため即完売となる人気商品である。

■ 米 畜産 = 資源の有効活用

久井町内には5つの牧場があり、畜産も盛んである。稲作農家から供給される飼料稲を畜産農家は牛の飼料として使い、逆に、畜産農家から供給される牛ふん堆肥(牛ふんに粉殻などを混ぜて醗酵させたもの)を稲作農家は肥料として使い、米づくりなどに活かしている。作物生産のための土づくりが必要な稲作農家と牛ふんの処理に困る畜産農家とのつながり(耕畜連携)により、資源を無駄にしない循環型農業が展開されている。



■ 米 合鴨 = 環境にやさしいお米

(有)吉田農ファームでは、経営する圃場の一部で合鴨農法を取り入れている。また、地元の畜産農家との耕畜連携により、牛ふん堆肥の施肥も行なっており、環境にやさしい農業を実践している。



■ 農業 竹林 = 地域課題の解決

～地域の手を農業に活かす 久井町助原地区の取組み～
竹が繁茂し、被害被害が課題となっている久井町助原地区では、伐採した竹を破砕機(多面的機能支払交付金で購入)で粉砕して竹チップにし、地元の牧場から購入した牛ふん堆肥と混ぜて、竹堆肥をつくり、農業に活かしている。
現在、竹堆肥は主に畑に撒いているが、今後は、米づくりにも活かしていくそうだ。
これまでは地域の悩みの種でしかなかった竹。今では、農業に有効活用され、地域からは「竹は宝の山」という声まで聞こえた。
“災い転じて福となす”同地区の取組みが、他の地域にもどんどん広がってほしい。



久井のお米

三原市内の水稲作付面積 (令和3年1月現在)	
三 原	494ha
本 郷	249ha
久 井	655ha
大 和	720ha

三原市立小・中学校で、子ども達の学校給食や、市場でも
“おいしいお米”として人気です

主な作付品種の紹介

・コシヒカリ
久井地区で一番多く作付けされている品種です。作るのは難しいが食味がたいへん良いお米です。「倒れやすく、いもち病に弱い」が「粘り、甘味が強く、弾力があり柔らかめ」という特徴があります。

・あきろまん
中生新千本の腹白・乳白粒の発生しやすさを改良した品種です。「倒れにくく、いもち病の抵抗性は中程度で多収」であり、「さっぱりとした口当りに適度な歯ごたえで粘りがあり、冷めても味わいがよく、弁当やおにぎりにも相性がいい」という特徴があります。

・あきさかり
稲作の低コスト化が叫ばれている昨今において、業務用にも向く、多収性品種です。「短程で倒れにくい、紋枯病が発生しやすい」こと「ご飯粒がやや大きくふっくらしていて、粘りと甘みを兼ね備えている」という特徴があります。

お餅もいかがですか♪

吉田地区の人々で構成する農産物加工グループ「やまびこ」(代表 西谷洋司さん)は、添加物を一切使用しない、昔ながらのシンプルな方法でのお餅づくりに取り組んでいます。正月用のお餅をはじめ、3月の雛祭り、5月の端午の節句などにも、「やまびこ」のお餅が大好評です。中でも、6種類のお餅を集めた歳暮用お餅セットはオススメ。遠く、久井を離れて久しい県外の方からも毎年注文が来るそうです。ふるさとしていいですね♪



人が未来をつないでゆく

マルチに穴をあけて苗を植えている時に、この苗達が大きく生長していく姿が目に見えるようでわくわくした。何故なら、自分がしていることはすべての命の始まりを作っているようなものだ。理科ですべての命の始まりは草だって習ったじゃないか！
ビルに囲まれた都会で感じられることだと思うかい？
6年生国語科の授業「町の未来を考える」での発表より
(久井小6年 梶谷偉成君の文章)

久井町農業集団組織連絡協議会
お問い合わせ先
事務局 三原市久井支所 地域振興課 産業建設係
三原市久井町和草 1906-1 Tel 0847-32-7113

久井町アグリマップ

～ KUI 農業でつながる高原のまち ～



久井町農業集団組織連絡協議会

まえがき(編集者より)

新発見! 久井町農業!!
「久井の特産物って何だろう?米、ポテトチップス...でも、いつ、どこで買える???」これがきっかけでした。
あたりを見回しても手がかりをつかむアイテムがありません。
「それならば、自分で探してみよう」と旅に出ました。
テーマは、「久井町農業に光を当てる旅」。
取材をお願いしては、地域を歩く、たぐさんの宝に巡り会うことができました。しかも、意外なことだらけ。そして、つながる、つながる...新発見の連続でした。

情報を共有し、どんどんつながろう!
そうして、出来上がったのがこのパンフレットです。
このアイテムを使って、あらためて情報を共有するとともに、お互いの取り組みを知り合うことで、久井町農業を支える農家さん同士の交流につなげてもらいたいと願っています。

個々が光れば地域が光る
今回、取材に応じてくださった農家さんは、自信と誇りを持って、イキイキと取り組みを話してくださり、皆さん一人一人が個性豊かで光り輝いておられると感じました。さらに、「つながりの力」で、地域全体がよりいっそう明るく元気になり、大きな光が生まれるものと確信しています。

結びに
このパンフレットの作成にあたり、ご協力くださいましたすべての皆様に、心から感謝申しあげます。十分な取材・編集が出来たとは思えませんが、精一杯、「久井町農業の見える化」を図ったつもりです。各農家さんの今後の営農活動の一助にいただきますとともに、地域の皆様にとりましても、あらためて、農業という観点から、郷土を見つめ直すきっかけにいただければ幸いです。

農業が人と

■ 法人 法人 = アグリチーム久井

○アグリチーム久井の目的
久井町内の複数の農業法人等で連携する任意団体「アグリチーム久井」は、各団体の代表者が、「一緒に何かしよう!」との想いを共有したことを契機に平成25年に結成された(令和3年2月現在、農事組合法人6戸、会社法人1戸、専業農家1戸で構成)。
米や野菜の共同販売、資材の共同購入、情報交換などについて、連携して活動を行っている。
アグリチーム久井は、その取組みが評価され、平成29年度に中四国農政局長表彰を受賞している。

○経営面積
・約200ha(環境保全型農業直接支払交付金取組面積約50ha)

○主な取組内容
・「安心!広島ブランド」特別栽培農産物認証制度による「特別栽培米」の生産・販売
・JA三原を通じて、学校給食への「特別栽培米」の出荷
・野菜(だいこん・赤しそ・かぼちゃ・白菜・キャベツ・かぶなど)の販売
・牛ふん堆肥の使用等、畜産農家との耕畜連携による地域資源循環型農業の実践 など

※「特別栽培米」とは

その農産物が生産された地域の慣行レベル(各地域の慣行的に行われている節減対象農薬及び化学肥料の使用状況)に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された農産物のこと。

強い農業の確立

戸野 勉さん
(農)清流の郷泉

広がる「久井」の米

行迫 啓明さん
(農)あぞうばら
「マーケットイン生産方式」で有利販売
エブリイ・イズミ・フジ・スパーク・食糧・オクモ・JAなど
地産地消・安心安全を提供
学校給食

連携の力

大嶋 恒生さん
(農)くらどう

野菜も

(農)清流の郷泉の
だいこん・かぼちゃ・赤しそ
(農)あぞうばらの
かぶ
(農)しもだにの
白菜・キャベツ

酒も

久井に新たな
特産品が登場!
純米酒
【久井物語】
久井産米「大粒ダイヤ」
100%使用

広がる販路

原 悟志さん
(農)おおしも

地域農業の発展

田坂 友彦さん
(株)アグリック明豊

※マーケットインとは

商品の企画開発や生産において消費者のニーズを重視する方法のこと。

津川農園

津川 聡さん

池田 和香さん

(農)しもだに